

エンパワメントの視点からみた その人らしい生き方の支援について

小屋敷 晃典

(学生番号 : 8000091)

ノーマライゼーションの考え方によると、加齢や障害に伴い在宅での生活が困難になった場合であっても、住み慣れた自宅で生活を送ることが望ましい。また、特別養護老人ホームでも、通常の生活と同等の権利が守られる。しかし、特別養護老人ホームにおいては、ノーマライゼーションの理念に基づいた通常の生活と同等の権利が保障されにくい現状がある。その理由として、集団生活の問題、疾患や障害等により意思表示ができない問題、職員の問題の3つがある。

本論文では、これら3つの阻害理由を考察し、ユニットケアやエンパワメントという新しい考え方における、その人らしい生き方に基づいた支援のあり方について検討した。

[キーワード : ノーマライゼーション , 権利の保障 , ユニットケア , エンパワメント]